

「平成30年7月豪雨」災害対応に係る情報 <No.8>

平成30年7月25日 (水) 13:00 (計1枚)

※この情報は、県内市町村社会福祉協議会、県経営協会員等の関係機関にお送りしています。

※県社会福祉協議会ホームページにも掲載しています。

【連絡先】社会福祉法人和歌山県社会福祉協議会 総務・資金部(地域連携班)

〈HP〉 www.wakayamakenshakyo.or.jp/

TEL:073-435-5224/FAX:073-435-5226

1 被災地支援のためのボランティアバス運行

— 第2陣20名、岡山県倉敷市で活動 無事に帰着 —

7月23日深夜に出発したボランティアバス一行が、24日の活動を終え、和歌山に帰ってきました。現地では、被災したお宅の家具や畳等の搬出や整理を、4グループに分かれ活動しました。

〈参加者の声〉

- ・初めて参加しましたが、テレビや新聞で見る被災地はごく一部だなど改めて感じました。
- ・今だに水が引いていない地域もあった。まだまだボランティアが不足しており、復興まで時間がかかりそうと感じた。
- ・訪問先のお宅の方に喜んでいただけた。今後も自分にできることを支援していきたいです。
- ・猛暑の中での活動となり、グループで体調管理を徹底しました。



2 近畿ブロック「災害時の相互支援に関する協定」に基づく活動

— 第2クール派遣職員が岡山県倉敷市災害VCへ到着、活動開始 —

第2クール派遣職員(紀の川市社協:國木、県社協:湯川)は、24日(火)11時から倉敷市災害ボランティアセンターへ入り、第1クールからの引継ぎを受け、ボランティアセンターの運営支援を開始しました。

県社協・湯川は同市災害ボランティアセンター本部(中国職業能力開発大学校内体育館)総務班、紀の川市・國木氏は前クールから引き続き「菌・川辺サテライト」の運営支援を行うこととなり、現地スタッフ、近畿ブロック派遣社協職員(=計31名:倉敷市へは16名)と協力しながら活動しています。



3 生活福祉資金(緊急小口資金) 特例貸付に係る応援職員派遣

— 県社協から3名の職員を岡山県社協に派遣(7月30日から・計3クール) —

今般の豪雨災害を受け、被災地社協における標記貸付事務の応援派遣(特例貸付支援)が行われることになり、全社協民生部から近畿ブロック幹事社協(奈良県社協)を経由しての派遣依頼がありました。

この要請を受け、本県からは3名の県社協職員(生活福祉資金担当職員)を派遣し、岡山市もしくは倉敷市において受付業務等の支援を行う予定です。

※全社協民生部からの派遣要請

クール	日程	本県派遣	備考
①	7月30日(月)～8月2日(木)	1名	各クールあたり近畿、東海・北陸、北海道・東北ブロックから各10名、計約30名の応援派遣を予定。
②	8月3日(金)～8月6日(月)	1名	
③	8月7日(火)～8月10日(金)	1名	

※いずれも前日15時に岡山県社協集合。